

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	管理者は防火管理者講習未受講で 防火管理者が不在の状況で 防火訓練が実施出来ない。	①グループ企業内に防火管理者受講済みの職員がいるのを確認できたので 該当職員指示のもと 防火訓練を実施していく ②管理者は防火管理者講習を早急に受講できるよう務める。	①年2回の防火訓練を行う。 ②地域の消防署での講習の他 一般社団法人等が実施している情報等把握し 早期受講を行う。	ヶ月
2	45	浴槽が一般家庭用浴槽の為 立位 座位のむつかしい方は 浴槽に入れず シャワー浴対応となっている。	リフト浴機導入を再検討し 早期に設営を目指す	機種や 設営時期の検討を開始する。	ヶ月
3	52	経年劣化により 施設内壁紙の劣化 汚染がある。	必要個所の壁紙を張替え 気持ちのいい空間を作る。	R3年10月までに 壁紙張替え工事終了できるよう 業者と話し合う。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。